



4月から始まった

透明ごみ袋による分別と古紙回収により

ごみの量が減少しました

四月一日からスタートした透明ごみ袋による分別収集と古紙回収。限りある資源を有効に活用するためのリサイクルと、ごみの減量を目的に開始しました。

市では、昭和五十六年からごみの分別収集を行っていますが、十五年が経過しごみを分別する意識が知らず知らずのうちに緩みがちになってしまったようです。色のついた袋や段ボール箱では、「中身が見えないから細かく分別しなくとも・・・」という意識が働いて、資源として活用すべき物まで燃えるごみや埋立ごみに入っていました。

こうしたことから、今回の透明ごみ袋による分別収集が導入されました。透明ごみ袋を使用してから三ヶ月、皆さんの環境についての意識が高まり、色のついたごみ袋などは見当たらなく、分別もしっかりとしてきました。しかし、ごく一部ですが、段ボール箱や米の袋などで出される人などが見受けられます。

今回は、三ヶ月間の透明ごみ袋と古紙回収の効果をお知らせするとともに、ごみの分別に対するお願いをします。

燃えるごみ



透明ごみ袋になる前のごみ集積場所（上）と
なってからのごみ集積場所（下）

透明ごみ袋による分別になつて三ヵ月。町内会や区での努力により、ごみ集積場所では見違えるほどごみの分別が徹底されています。しかし、透明ごみ袋による分別は始まつたばかり。市では、皆さんと一緒にごみ減量とりサイクルの街づくりを進めるとともに、スーパーマーケットや小売店に対しても、有色のごみ袋にかえて透明ごみ袋の品ぞろえや、現在使っている有色のレジ袋の透明化などの働きかけを行つていきます。

七月からは、

違反ごみの収集は一切行いません

四月一日から六月三十日までは透明ごみ袋による分別の指導期間でした。この間、違反ごみについては警告

スティッカーを張り、皆さんに透明ごみ袋への御理解を求め

てきました。しかし、七月一日以降の違反ごみについては、一切収集しません。ごみ集積場所に居残りのごみがないようみんなで注意しましょう。

ごみの分別は正しく、

決められた場所で、

朝八時三十分までに

市の焼却施設は、プラスチックや、ビニールなどの石油精製物を焼却することができます。全戸配布の「ごみのカレンダー」をよく確認し、ごみを出す時点からしつかり分別してください。また、市では街の美観を維持するため、ごみの収集は速やかに行います。必ず指定の場所に午前八時三十分までにごみを出すよう御協力を願いします。



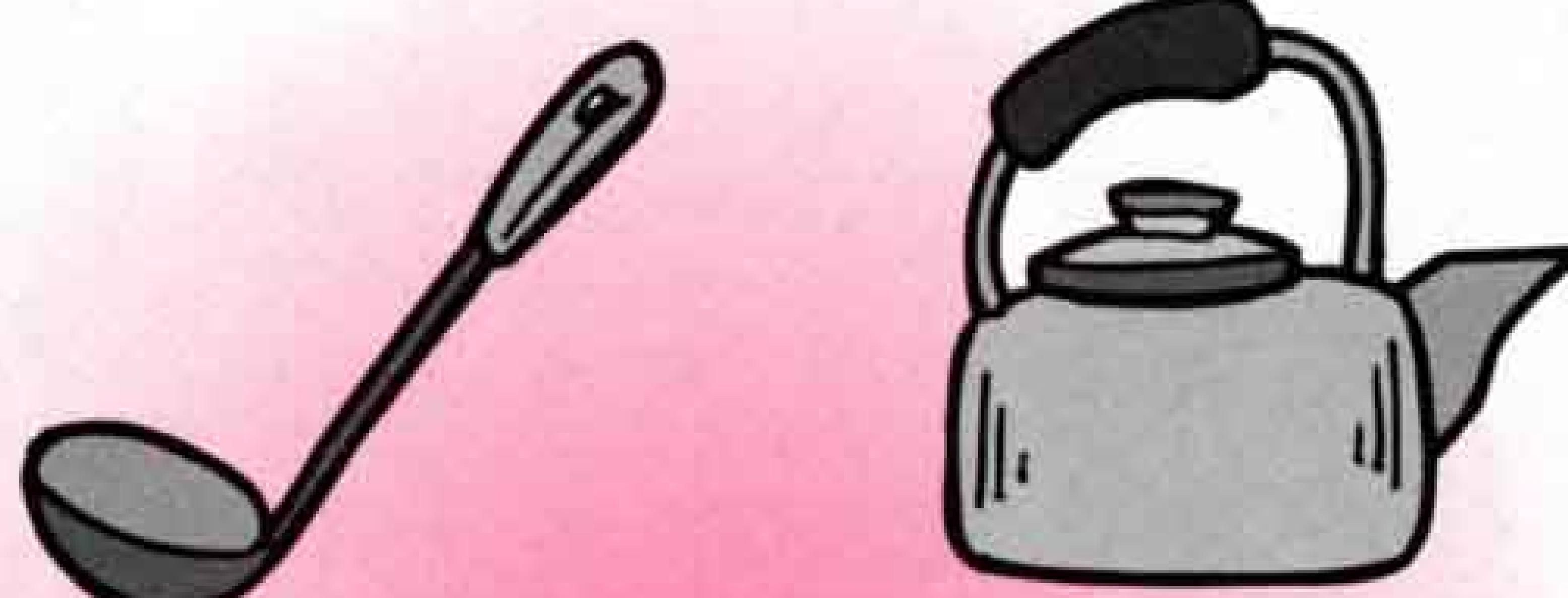
昨年のごみの量と透明ごみ袋になった4月から6月の比較表。平成8年の4月から6月とことしの同月を比べると3ヵ月で1,748トン、月平均で約582トンのごみが減少しました

早朝、富士本町でごみを出しに
来た吉田さんに透明ごみ袋になつてからの感想をお聞きしました。



吉田好子さん（富士本町）

黒いごみ袋のときと比べてごみの量が少なくなった感じがします。黒いごみ袋にはいろいろな物が入つてたようですが、透明なごみ袋になってからは捨てる側のモラルも徹底してきました。新聞紙や金属などが入っている袋はほとんど見当たらぬですね。富士本町では昨年から試行地区として始めましたが、大きなトラブルもなく受け入れられたと思います。ごみは生活する上で必ず出る物ですから、一人一人がごみについて関心を持つて取り組まないとね。資源として集めたごみが効率よくリサイクルされていけばもっと住みよい街になるでしょうね。



金属類としての基準は、全体の8割以上が金属でできているものです



缶は必ず中身を空にしてください
缶は再生品として質の高い金属ですが、缶の中に中身が残っていたりタバコの吸い殻が入っていたりすると再生品の質が低下してしまいます。缶の中は必ず空の状態で出すようにお願いします。



缶は市指定袋で出してください。市指定袋が足りないときは、町内会長（区長）に申し出てください



危険物は安全に梱包し、わかりやすく明記してください

長い間、日々の生活の中で活躍してくれたガスレンジや自転車など、時がたち不用品となつて家を出るときが来ます。市は、この重宝にしていた金属類を再生し、新たな製品となるようにごみとしてではなく「金属」として回収しています。透明ごみ袋になり、燃えるごみへ出される金属は減りましたが、埋立ごみの中には「これは金属として再生できない」と誤った判断をされて出される立派な金

金属としてよみがえるごみ

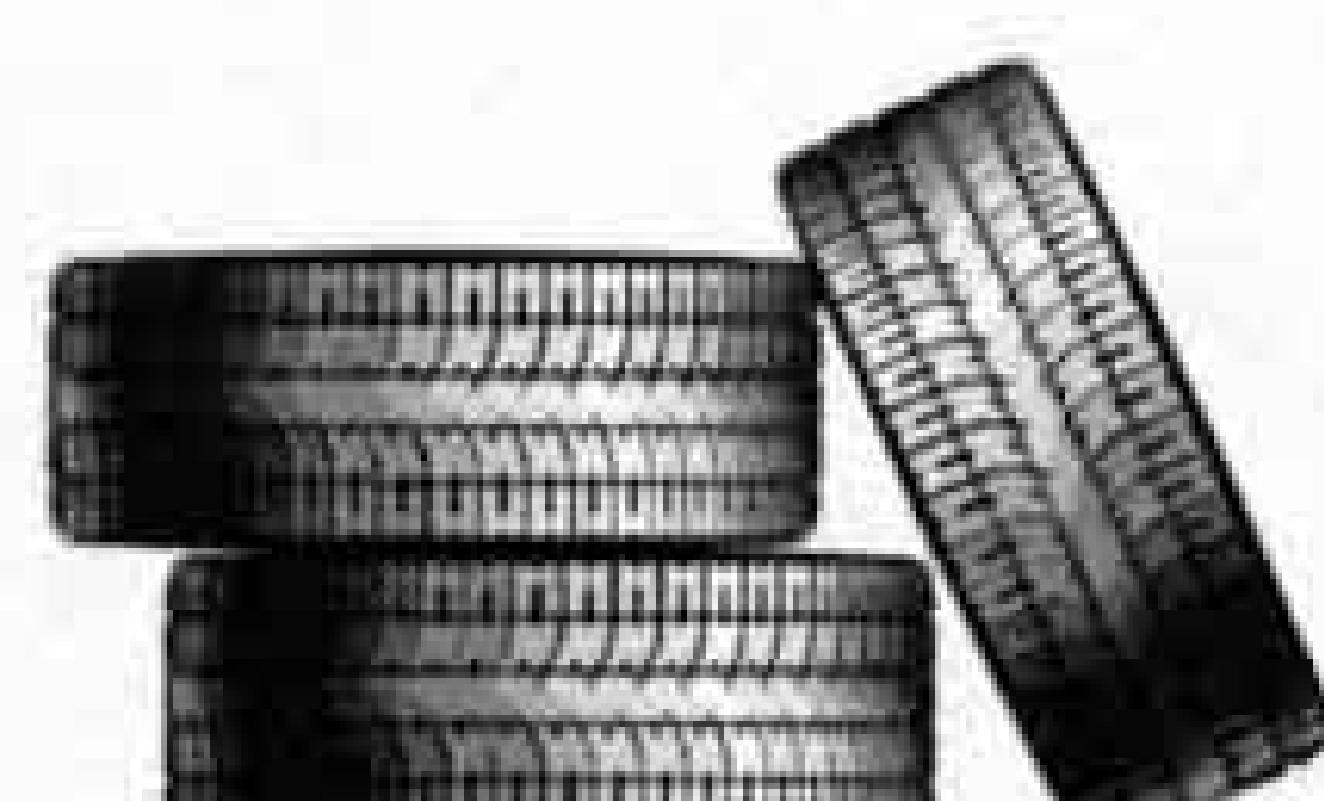
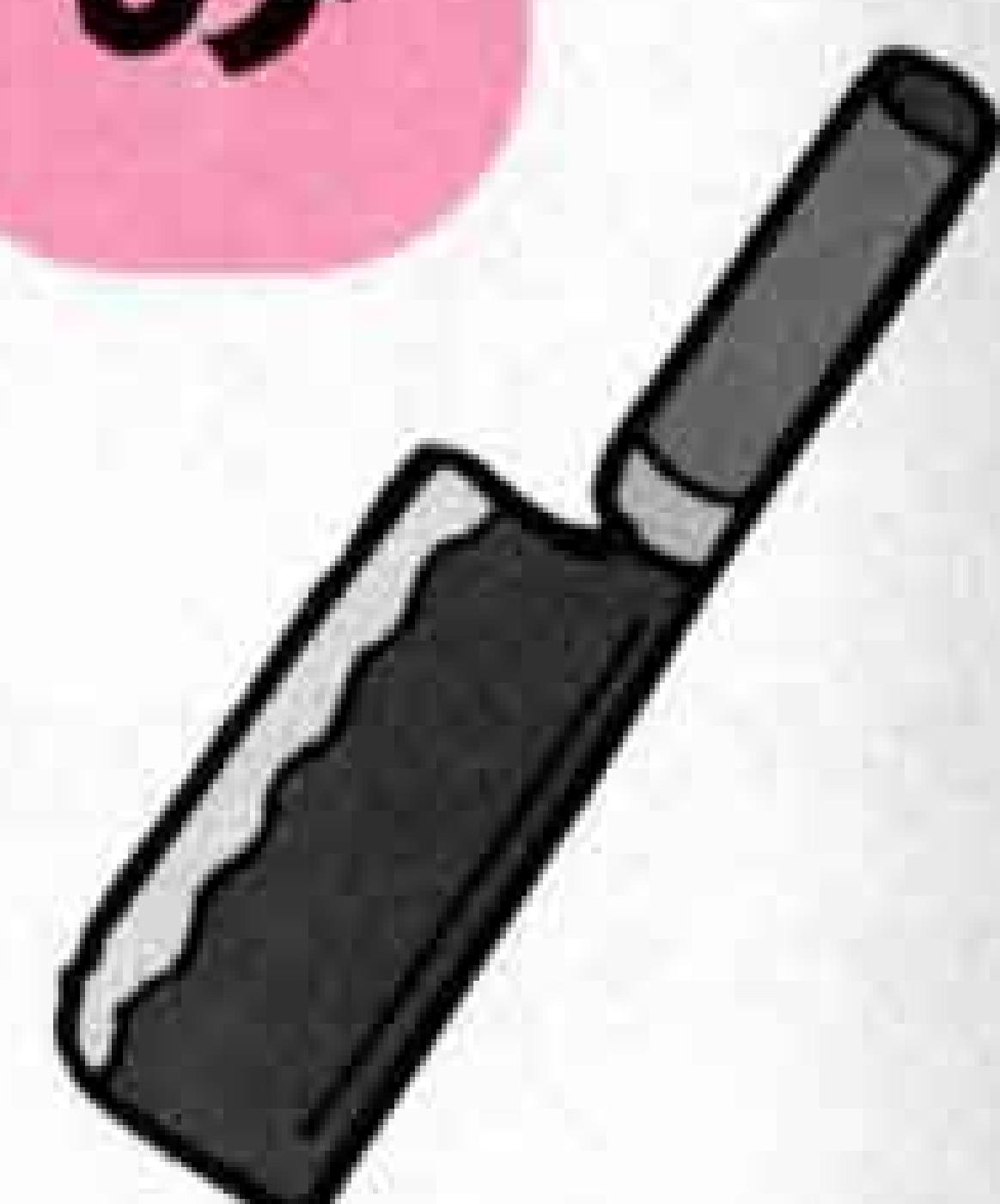
属を見受けることがあります。

皆さんは、金属と埋め立てられるごみを正しく分別していますか。リサイクルの基本は分別。金属をいつまでも金属として使っていけるように正しい分別方法をよろしくお願ひいたします。

金属やプラスチックなどを容易に分別できない物や、包丁、かみそり、割れたガラスなどの危険物、瀬戸物、ホーロー製品などが埋立ごみです。特に、刃物や割れ物などの危険物は、ごみを出すときも収集するときも、けがをしやすいので、安全に梱包し「刃物」、「割れガラス」などわかりやすく明記して出すようにお願いします。

また、市で収集しない物がありますので注意してください。

埋立ごみ



市では収集しない物

品名	対策（どうしたらよいか？）
タイヤ	処理業者に搬入する【富士鷹岡ゴム☎71-3618】 購入先で引き取ってもらう【有料】
ボンベ類 (プロパンボンベ)	プロパンガスを扱うガス会社か、購入先で引き取ってもらう
劇薬(農薬)	購入先で引き取ってもらう
廃油 (自動車オイル) (工業用オイル)	ガソリンスタンドまたは購入先で、引き取ってもらう



環境衛生課

渡辺和三郎 課長

古紙回収

回収できない古紙があります

今までPTAや子ども会の集団収集などで集められず「燃えるごみ」として出されていた古紙を四月一日より、市は資源物として回収しています。紙の原料となるパルプは、地球にとってとても大切な森林資源。この資源を必要以上に使わないようみんながリサイクルの意識を持ち古紙を資源として活用していきましょう。

せっかくの資源がごみになってしまう場合もあります

皆さんのが手をかけて出していただく古紙が、時によつてはごみになってしまいます場合があります。古紙は、再生業者によつて溶かされて新たな紙になりますが、ガムテープやセロハンなどがついたままだと、紙が溶けずにそのままごみになってしまいます。

資源として出していただく古紙は、市の収集に限らず余分な物を取り除いてから出すようにお願いします。

回収しやすい配慮をお願いします

市で行う古紙回収は、回収の段階から分別して回収します。そのため、新聞や段ボール、雑誌などが入りまざつたり重なつたりしていると収集に時間がかかり、集積場の周りの皆さんに迷惑をかけてしまします。集積場の面積などさまざまではありますが、収集しやすい出し方をお願いいたします。また、決められた時間過ぎて集積場所に置き去りにされた古紙を見かけるときがあります。回収時間の午前八時三十分を守つていただければこのようなことはありませんので時間厳守でお願いします。

紙にはいろいろな種類があります。その中で、シールやアルミはくがついている紙やワックス加工紙、ファックスやワープロに使う感熱紙などは、再生が効かないため回収できません。これらは、燃えるごみの日に透明ごみ袋に入れて出してください。

種類	対象となるもの
①新聞紙	新聞紙以外に折り込み用チラシも含みます。
②雑誌	その他 紙箱、菓子箱、紙袋、紙封筒も含みます。箱は開いてから束ねてください。
③段ボール	箱は開いてから束ねてください。
④飲料用紙パック	牛乳やジュースなどの紙パックです。 容量が500ml以上のものと500ml未満のものと分けて出してください。 ただしアルミはくを内張りしたものは除きます。 紙パックを開いて洗浄し乾燥して束ねてください。 キャップのついているものは、キャップ、およびキャップの根元を取りはずし完全に紙だけの状態にして出してください。

※ガムテープで縛るのは資源化の妨げになりますのでやめてください。

※紙以外の附属品は取り除いて紙だけにしてから出してください。

※回収日が雨天の場合でも回収を行いますが、必ず回収当日の朝8時30分までに出してください。

問い合わせ

環境衛生課

☎51-0123

内線2051

内線2053

環境クリーンセンター

☎35-0081

☎35-0369

リサイクル商品を選んで使ってください

四月一日から始まった透明ごみ袋による分別収集は三ヶ月を経て、町内会長（区長）さんを始めとする市民の皆さんとの御理解と御協力により百%に近い達成を見ることができました。これは、皆さんのがごろからのリサイクルについての関心の高さだと考えます。古紙回収についても、紙の街富士市に住む皆さんの意識が高かつたため、速やかに浸透しました。どちらについても予想以上の成果で、皆さんのモラルの高さが感じられます。今回のごみの分別については、有限な資源を効率よく活用してリサイクルするためのもので、皆さんが意識を持つてリサイクルされた商品を購入し使わなければなりません。環境に優しく住みやすい街づくりを進めるためにもより一層の御協力をお願いします。

透明ごみ袋
による分別と
古紙回収の成果

